



2025年
1月号



花だより



No. 78



〒239-0832
横須賀市神明町1028-7
☎ 046-835-0132
FAX 046-838-0905

フィオーレ久里浜 入所&デイケア

謹賀新年

新年あけましておめでとうございます

本年も職員一同、より良いサービス向上を目指していきたくと思います。
宜しくお願い致します。



「真珠の耳飾りの少女」とフェルメール

副理事長 藤田和雄

昨年のゴールデンウィークに、オランダのマウリッツハイス王立美術館に行ってきました。
貴族の屋敷を改修した木造の美術館で、規模は大きくありませんが「17世紀はオランダの世紀」と言われるその隆盛期の様々な絵画を中心に集め、世界的に有名な美術館です。

「真珠の耳飾りの少女」は、他の絵画と同じ様になにげなく壁に掛けられていました。ただ違っていたのはその作品の前には多くの人だかりができ、色々なグループが色々な言葉で作品を語り合っていたことでした。

その作品の少女は大きな黒い瞳を見開き、一瞬左に目を向け、何かを見つめています。頭をおおった青いターバンは赤い口唇と真珠の耳飾りと共に、見る者を絵の中に引き込みます。全体にあふれる緊張感はどこか異国情緒を漂わせ、若い女性のみずみずしさを一層かきたてています。作者フェルメールは、少女の一瞬の表情から永遠の感動を与えてくれました。

フェルメールは1632年にデルフトという町で生まれ、1675年に43歳で亡くなるまでこの町で暮らしたそうです。そうして彼の住居と仕事部屋は、今日もデルフトの町に残っています。

今日世界的に注目を集めるフェルメールですが、その作品は生涯36点しか残さなかったそうです。その作品は人物を描いたものが多く、特に働く市井の女性達が淡々と描かれています。「小路」と題される作品はデルフトの町の広場に面した家の入口で編み物をする女性や路地の奥で洗濯をする女性たちが描かれ、今日でもどこかの町で日常的に見られそうな風景を描いています。

昨年の暮れに亡くなった詩人 谷川俊太郎はNHKの日曜美術館で「私とフェルメール」と題した対談を行い、その中で、谷川が1931年生まれであることに触れ、フェルメールは300歳年上と述べています。詩人の目には300歳の違いは兄弟の年の差の様なものと目に映ったのでしょう。

「小路」を最初に見た時、私も谷川俊太郎と同じ様に、日常を淡々と描くそのまなざしに、はっと驚かされました。それはまさに同じ目線で物事を見ている318歳先輩の作品そのものでした。

オランダのチューリップが見たいという妻の言葉に乗せられて来たゴールデンウィークの旅は、フェルメールやデルフト、さらに谷川俊太郎との思わぬ出会いを作ってくれることとなりました。

～相談室より～

相談室よりご入所されているご家族へのお願いです。

「今後の在宅退所に向けてのご意向の確認」用紙を今回の請求書に同封させて頂きました。ご確認の上、2月上旬頃までに施設にご持参をお願い致します。

12月7日(土) いも掘りレク(2階)



22日(日) 誕生日会(入所)



23日~25日 クリスマス会(通所リハ)



23日(月) 郷土銘菓:静岡「お茶みかん」



12月作品



31日(火) 年越しそば



1月 行事予定

- 1日(水) 昼:おせち・お雑煮
- 1~7日 初詣(1階 神社)
- 2日(木) 書初め(3階)
- 3日(金) 書初め(2階)
- 7日(火) 昼:七草粥
- 9日(木) 傾聴ボランティア
- 10日(金) おやつ:おしろこ(鏡開き)
- 22日(水) 防災訓練
- 27日(月) 郷土銘菓:埼玉「十万石まんじゅう」

皆様からの短歌等お待ちしております。

花だより」編集部

後わずか
恙病息災
願いつつ
すみれ

俳句・短歌・川柳・詩の会

除夜の鐘
年越しそばを
食べながら
すみれ